



旧石器時代の石器製作跡を発見

島根県教育庁埋蔵文化財調査センターでは、国道 432 号大庭バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を行っています。このたび、^{だんばら}団原Ⅱ遺跡において旧石器時代の石器製作跡を発見しましたので、調査成果を公開します。

1 今年度の調査と成果

(1) 調査箇所 松江市大庭町 団原Ⅱ遺跡 (調査対象面積：500 m²)

(2) 調査期間 令和7年5月21日～8月下旬 (予定)

(3) 主な調査成果

- ① 3万年前頃のものと考えられる地層から、ナイフ形石器 (突いたり、ものを切る用途で使われた片刃の石器) 5点のほか、地元産 (松江市南部) の玉髓^{ぎょくずい}の破片が約140点出土した。
- ② 出土した石器が接合すること、破片が集中して出土していることから、その場所で石器を製作したと考えられる。
- ③ 中国山地から持ち込まれたと考えられる石材 (安山岩^{あんざんがん}) も出土した。

(4) 調査の意義

- ① 島根県内で見つかっている旧石器時代の遺跡69カ所のうち、土層との関係から石器の製作年代が特定できたのは3例目、島根県の沿岸地域では初めての発見。
- ② 中国山地の石器石材も見られることから、旧石器人が広域に移動していたと推測される。

2 現地説明会の開催

(1) 日 時 令和7年7月26日 (土) 13:30～15:00 (小雨決行)

(2) 開催場所 松江市大庭町 団原Ⅱ遺跡発掘調査現場

(3) 当日のお問い合わせ 080-2887-6998 (埋蔵文化財調査センター公用携帯)

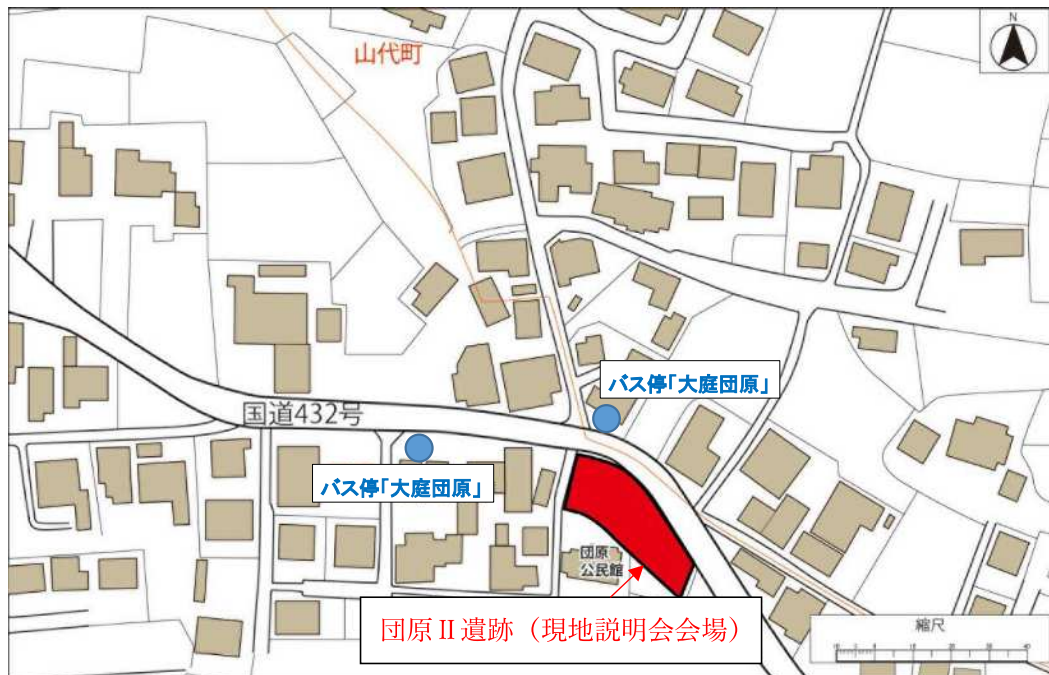
(4) その他

- ① 酷暑が予想されます。十分な熱中症対策をお願いします。
- ② 最寄りのバス停は「大庭団原」です。

駐車場は八雲立つ風土記の丘 (松江市大庭町456)、駐車場から徒歩10分程度です。



団原Ⅱ遺跡位置図(S=1:25,000)



団原Ⅱ遺跡の位置(S=1:1,500)



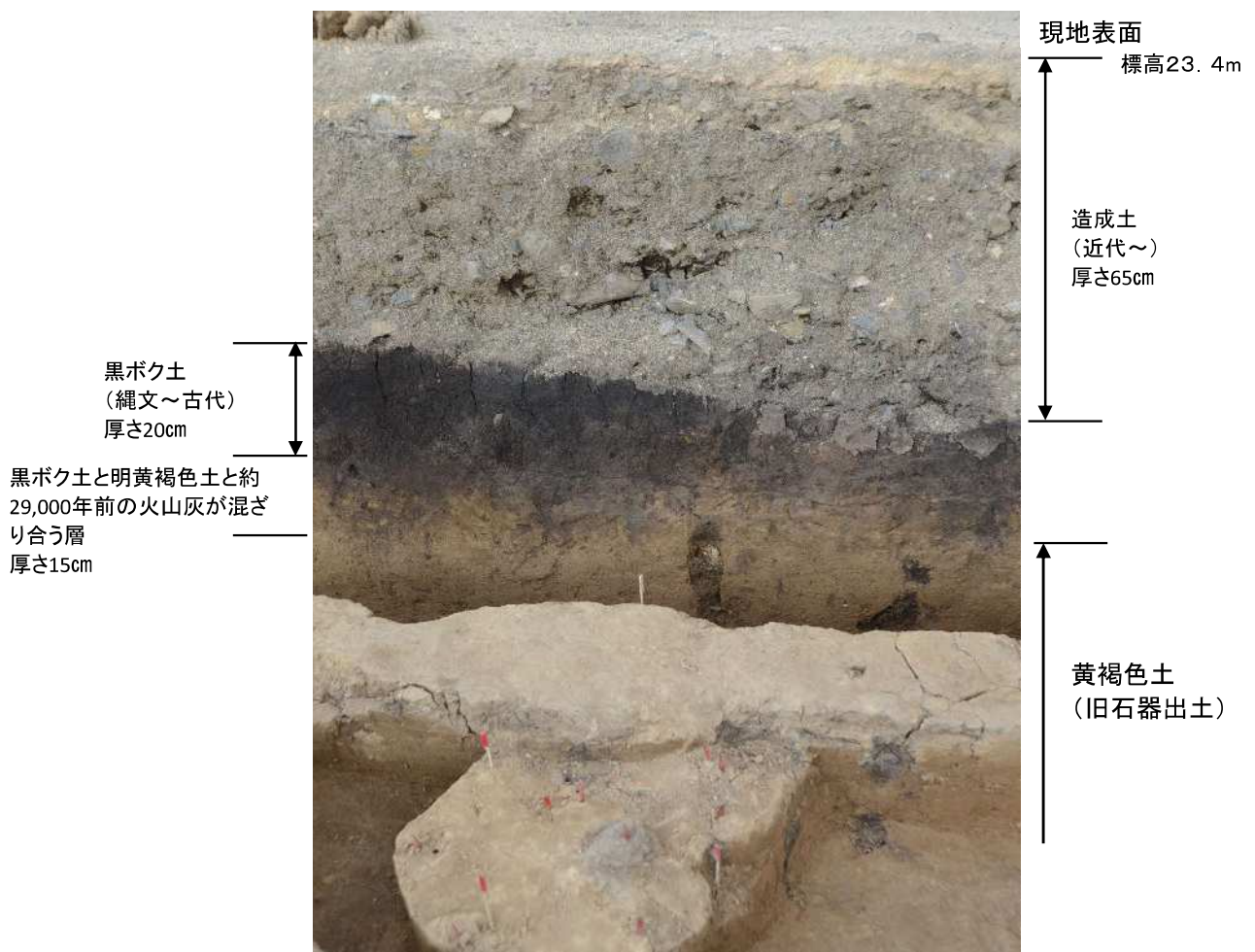
団原Ⅱ遺跡近景(東から)



団原Ⅱ遺跡作業状況



団原Ⅱ遺跡旧石器出土状況(南東から)



団原Ⅱ遺跡北壁土層堆積状況



ナイフ形石器（玉髓）



ナイフ形石器（玉髓）



ナイフ形石器（安山岩）



せっかく
石核（玉髓）



はくへん
剥片（玉髓）



接合する玉髓の石核と剥片



接合する安山岩の石核と剥片

